

公立大学法人福岡県立大学中期目標

前文

福岡県立大学は、人間社会学部と看護学部を有する公立の福祉系大学であり、開学以来、地域に根ざし、地域とともに発展する大学である。「学生ファースト」の理念に基づく大学運営の下、保健・医療・福祉の分野において多くの優秀な人材を輩出するとともに、地域と連携した取組を積極的に展開し、成果をあげてきた。

近年の社会は、人口減少・少子高齢化の進行、経済のグローバル化、急速なデジタル化など大きく変化しており、また、これまで経験のない大規模災害あるいは感染症の発生、不安定な世界情勢など、先を見通すことが非常に難しい時代を迎えている。

保健・医療・福祉の現場でも、少子高齢化の進行、地域の繋がり希薄化や価値観の多様化などが進むことにより、地域住民が抱える課題や福祉ニーズは複雑化・複合化している。また、地域の住民が支え合いながらともに地域をつくる「地域共生社会」の実現が求められる中、地域の関係機関と連携し、保健・医療・福祉サービスを一体的に提供できる多職種連携による包括的支援体制の構築や、情報化を活用した支援の推進が必要となっている。

こうした状況を踏まえ、次代を担う人材を輩出する福岡県立大学には、次のような人材を育成することを期待する。

- ・自らの専門分野に加えて、関連する分野の幅広い知識・技能をもとに俯瞰して考えることができる力を有し、保健・医療・福祉を中心とした幅広い分野で、地域づくりや社会づくりのため中核となって活躍することができる人材
- ・予測困難な時代においても、社会の担い手として、自ら課題を見つけて、学び、主体的に行動し、他との協働やデータ活用等により既存知を結集するなどして、地域共生社会の実現や福祉社会の発展に向けたイノベーションを創出することができる人材

また、大学を取り巻く環境は、社会が抱える難しい課題やニーズへの貢献に対する大学への期待が一層増している一方で、18歳人口が2023年の約110万人から2040年には約88万人まで減少することが予測されており、未知の社会に応える魅力的で質の高い教育の提供や新たな価値の創出ができなければ、公立大学といえども生き残りは難しいと言われるほど、厳しい状況を迎えている。

このため、福岡県立大学には、地（知）の拠点として、次の点を踏まえた大学運営に一層取り組むことを期待する。

- ・時代や環境の変化に応じて、自らの個性や強みを一層生かし、他大学等多様な主体との連携・協働も積極的に進めるなどして、教育研究のあり方を不断に見つめ直すことにより、存在意義の高い、特色ある大学づくりを目指す。
- ・ジェンダー・ギャップの解消に努めるとともに、多様なバックグラウンドを持つ学生や教職員が互いを尊重し、誰もが自分らしく学び、活動できる教育・研究環境の

整備を推進する。

- ・公立の大学として、地域社会が直面する課題に取り組むとともに、世界から選ばれる福岡県の実現、ワンヘルスの推進、デジタル社会・グリーン社会の実現など、福岡県が重点的に進める施策と連携した取組を進め、福岡県の飛躍、社会の発展に一層貢献する。

福岡県は、これらの期待する事項を基本に、公立大学法人福岡県立大学が、理事長のリーダーシップの下、地域貢献活動をはじめとした特色ある取組を推進し、さらに発展していくとともに、社会から高く評価される大学となるため、ここに中期目標を定め、法人に指示する。特に、以下に掲げる教育、研究、地域貢献等の各分野の目標を踏まえて、学生ファーストの理念の下、地域社会の発展に貢献する人間性・専門性の高い保健・医療・福祉の人材を育成する大学として、法人自らの個性や強みを最大限に発揮する戦略的・意欲的な取組を推進することを求める。

中期目標の期間

令和6年4月1日から令和12年3月31日までの6年間

1 教育に関する目標

(1) 特色ある教育の推進

保健・医療・福祉の専門職として、関連する分野に関する幅広い視野や国際的な感覚を併せ持ち、他の専門職と協働して、保健・医療・福祉の現場で中核となって、複雑化・複合化するニーズに対応し、高度福祉社会の実現に力を発揮する人材を育成する。

あわせて、予測困難な時代に社会で活躍するために必要な資質・能力として、自ら課題を発見し、主体的に考え、他と連携しながら多様な知を持ち寄り、新たな発想をもって解決に向けて行動できる力を養う教育を推進する。

(2) 教育の実施体制等の充実

学修成果の把握・検証や効果的なファカルティ・ディベロップメント等、教育改善のための組織的な活動を推進し、全学的な教育の質を向上させる。また、他の大学、研究機関、企業・団体等との連携を通じて、提供する教育の幅を広げ、教育内容を充実させる。

(3) 教育の国際化の推進

国際的な視野を持ち、異文化や多様な価値観を尊重しながら、他者と協働することができる人材を育成するため、国外の大学等との連携により、多様な交流活動等を通じて国際化に対応した教育を推進する。

(4) 意欲ある学生の確保

効果的・戦略的な募集広報活動を展開するとともに、入学者選抜方法の検証・見直しを行い、大学が求める資質・能力を持ち、学ぶ意欲の高い多様な学生を確

保する。

(5) 学生支援の充実

留学生を含め、多様なニーズを持つ学生が主体的に学修を行い、健康で充実した学生生活を送るため、学修・学生生活支援体制を充実・強化するとともに、経済的に修学が困難な学生に対する適切な支援を行う。また、学生の職業観の醸成に向けたキャリア教育を進めるとともに、県内の産業界等との連携を強化し、学生の意向に沿った進路の実現に資するきめ細かなキャリア支援を充実・強化する。

2 研究に関する目標

(1) 特色ある研究の推進

大学の特色を生かして、地域社会の課題、ニーズに対応した研究、保健・医療・福祉の発展に有用な研究を重点的にを行い、その成果を広く社会に発信し還元する。

(2) 研究の実施体制等の充実

研究活動を更に活性化させるため、教員の研究意欲及び研究水準の向上等に繋がる支援体制を一層充実させるとともに、他の大学、企業、研究機関等との連携を強化し、外部研究資金の獲得を拡大する。

(3) 研究の国際化の推進

国・地域を越えた共通の課題等の解決に資するよう、海外の大学等との学術交流を一層進める。

3 地域貢献に関する目標

(1) 地域社会との連携

大学が有する人的・物的資源や教育研究成果を生かして、保健・医療・福祉人材のキャリアアップに資する教育プログラムなど、生涯を通じた多様な学びのニーズに応える機会を提供する。また、地域における知の拠点としての役割を踏まえ、県の各種施策や自治体、企業等との連携を深め、不登校対策をはじめとする地域の教育活動の支援や保健・福祉の向上等に繋がる取組を積極的に推進し、地域社会の発展に貢献する。

4 業務運営及び財務内容の改善に関する目標

(1) 戦略的な大学運営の推進

社会の課題に的確に対応するため、理事長（学長）のリーダーシップの下、大学の教育研究組織、経営状況等を検証・改善しつつ、大学の特色を生かし、価値の向上に繋げる戦略的・機動的な運営、人材の確保・育成を行うとともに、意欲的に他の大学等と連携し、多様な教育研究を効果的に推進する。あわせて、社会

的信頼性を担保するために、自律的な内部統制システムの不断の改善をはじめ、ガバナンスを強化し、コンプライアンスを徹底するとともに、リスク管理の実効性を高める。

(2) 業務の効率化及び財政基盤の強化

思い切った業務の見直しやデジタル化を進め、生産性向上、業務の変革に繋げることにより、経費の抑制を図る。また、付加価値の高い教育研究サービスを提供するため、適切な料金の設定、外部資金の獲得等を行うとともに、大学の多様な人的・物的資源を活用して自己収入を確保する。

5 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

(1) 自己点検・評価

内部質保証システムを機能させ、適正に自己点検・評価を行うとともに、その評価結果及び第三者評価の結果を活用し、教育研究及び大学運営の改善、充実を推進する。

(2) 情報公開・情報発信

大学情報を積極的に公開し、公立大学法人としての説明責任を果たすとともに、大学の活動状況を効果的に発信し、大学のプレゼンス向上、県民及びステークホルダーの理解・支持を獲得する。